

東京多摩地区骨粗鬆症 リエゾンの会

各施設で実施した活動を WEB 講演で発信

——2019年9月以降、新たに始まった活動は？

2020年2月20日に第1回講演会とワークショップ、同年11月25日に第2回講演会 (WEB)、2021年7月9日に第3回講演会 (WEB) を開催しました。

——コロナ禍で変わったことや活動を継続していくために工夫していることは？

密を避けるため、会議と講演を WEB に切り替えました。

——今後新たにに取り組む予定の活動は？

年2回の講演会の継続と WEB 講演会内で全員参加型のプログラムをつくりたいと考えています。また、世話人だけでなく、全員参加での意見交換会や他地域の連携会メンバーとの意見交換会を計画中です。後者については WEB 発信ができればよいと考えています。

——会の PR ポイントは？

①多様性に対応していくことをモットーに医療職のみならず、

連絡先
永寿会福祉病院
makino1090@yahoo.co.jp
田淵 美香

ず、福祉、介護関係や健康づくりに携わる市民団体に至るまで自由な参加を呼び掛けています。

②まずは世話人たちが、自施設での実践活動を展開後、その内容を WEB 講演で発信しています。将来的には会員の活動にも焦点を当てていきたいと考えています。

③参加者全員で明るく楽しくつくり上げられるよう、参加型の講演会を目指しています。

——連携会が今後広がるために必要なことは？

①骨粗鬆症マネージャーの資格を取得する前に、自施設での活動をどうするかについてあらかじめイメージすることが大事だと思います。資格取得後の目標がないと、資格を取得して終わりになってしまうことが多いと感じています。

②一人でも地道な活動を続けること、仲間を増やすこと、勉強を続けること、自施設の活動内容を発表することが必要です。

③多職種でのチーム作りも大切ですが、骨折を起こさないという予防的な視点での活動を広げていく必要があります。

す。地域連携の活動拠点を担う医療機関が増えてくればよいと思います。また、骨粗鬆症マネージャーが困ったときや相談したいときに、立ち戻れる場所があることが重要です。



第1回の講演会とワークショップの様子

④リエゾン活動に診療報酬の加算がつけば活動に対するサポート体制が充実するのではないのでしょうか。



当会のメンバー (後方左から2番目が筆者の田淵)